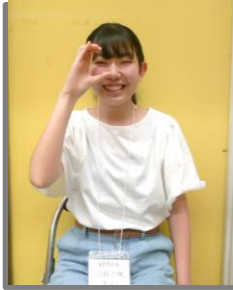


蒲郡若者議会 子供委員会 政策立案シート



芦刈 純奈



小林 万純



下野 太聖



山本 航

メンター・協力

伊藤 健一、竹内 春貴、小林 幸詞、市川 晶康、大丸 貴史、兼子 由佳
水藤 大輔、藤田 裕喜、伊藤 昭孝、権田 吉宏、鈴木 隆夫、杉浦 光彦、平野 貴
拡

蒲郡の現状

※数値など客観的データ

- ・ 蒲郡の人口…約8万人
- ・ 蒲郡の子供（0~14歳）…約1万人
- ・ 児童館…7つ
- ・ 公立保育園…15園
私立保育園…1園
認定こども園…2園

1

蒲郡の魅力

※テーマに関連した魅力を列挙

- ・ 待機児童0人
- ・ 赤ちゃんの駅がある
- ・ 子育て施設・政策の充実
- ・ 蒲郡市から定期的な子育て
情報の案内がある

2

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	Strength（活かせる強み） ・スポーツ少年団が多い ・科学館がある ・赤ちゃんの駅がある ・待機児童0名 ・競艇場のパーク化、イベント会場化（子供連れでも入りやすい、遊びに行きやすい） ・農林水産業が盛ん→特に深海魚（ニギス、メカリなど）は特色（食べ方の提案など）	Weakness（克服すべき弱み） ・観光地ごとに知名度・来場者の差が大きい＝発信力が弱い ・図書館の利用時間が短い、公民館の駐車場がない／小さい＝利用しにくい ・若者が遊べる場所が少ない＝他地域（豊橋、名古屋など）に人が流れてしまう ・産後ケア事業など、子育て支援事業はあるが利用のしにくさがある（病児保育は定員が1日3人まで、など）
外部環境	Opportunity（市場での機会） ・特別支援学校（不登校児童の再スタートの場）が作られている ・子供向け予算が多くなる傾向（議員や市区町村長が政策として取り上げる傾向） ・子育て支援企業認定@豊橋市（170社）＝官民一体での子育て支援の動き	Threat（回避すべき脅威） ・子育て支援に力を入れる自治体が増えるなかで何の対応も取らずにいと、魅力ある他地域に人口が流出してしまう

3

子供のびのび遊べる街！蒲郡

4



解決すべき課題

※蒲郡市のどんな課題を解決させようとしているか？

- ・人口の減少→最終的に蒲郡の子育て人口を増加させる
- ・子育て政策のPR不足→子育て中の親子向けに現在行われている活動を広める＋子育てに今は関係ない人にも子供に優しい街だと知っていただき、蒲郡で子供を産みたいと思っていただく
- ・子供の遊び場の確保→蒲郡でも地元の人しか知らない場所（公園など）の情報を発信し、楽しく・安心して子供が遊べるようにする

蒲郡をどう変えたい？

- ・蒲郡市で子育てをしている人、これから子育てをする人の声を集め、市民のニーズを満たす
- ・既存の遊び場、仕組みを市民の声から改善する

市民をどう変えたい？

- ・蒲郡で子供のびのび遊べるよう、知られていない情報を市民に広く周知する
- ・実際に蒲郡市民の行動が変わる（公園を利用するなど）

5

強み・弱み

※メンバーの強み・弱み

【強み】

- ・SNSの発信力/会社・学校のクチコミ
- ・サンヨネでお菓子を仕入れ・チラシ配布
- ・子育て経験者＋高校生の新鮮な意見
- ・全員生徒会経験者→主体的行動

【弱み】

- ・企業との繋がり少ない
- ・全員文系で理系の知識に疎い

6

ターゲット

※政策の対象者を具体的に

- ・蒲郡で子育てをする親
- ※蒲郡出身、市外出身を問わず
- ・蒲郡の子供（未就学～小学校低学年）
 - ・これから子育てをする人
 - ・蒲郡市（子育て政策担当部署）

7



政策のタイトル

地産地遊プロジェクト

8

政策の蒲郡に対する目的

- ・ 蒲郡の遊び場（公園など）の利用者をアップさせる
- ・ 子育て政策の立案
- ・ うーみんなナビ利用者アップ

11

政策の参加者に対する目的

- ・ 公園、子育てアプリの認知拡大
- ・ 蒲郡が子育てに優しく、のびのび遊べる街であると知る
- ・ 普段言えない意見を伝える

12

実施の効果目標 ※参加者数、現状→目標の数値変化、アンケート調査など

- ・ 蒲郡の公園（遊び場）の利用者アップ（参加者の8割以上が「行きたい」と思える）
- ・ うーみんなナビ利用者アップ
- ・ アンケートで効果を判断し、のびのび遊べる街にするために必要なものを収集
- ・ 市民の声から、蒲郡市に子育て政策の提言を行う

13

政策の概要

“地産地遊”とは

蒲郡の人が地元で子供を産み、地元で親子で遊んでももらいたい。

そこで、新たに仕組みを作るのではなく、蒲郡市が作成・発信している既存の媒体や、知られていない遊び場をPRすることで、蒲郡が子育てに優しく、のびのび遊べる街であると広く認知させる。

「蒲郡市の子育てに関するアンケート」を実施し、2021/11/6時点で**313件**（ごりやく市当日で集めた80件を含む）の回答を得た。

- ・ 事業参加者のうち90%が「当日紹介された遊び場に行こうと思った」と回答した。
 - ・ 一方、うーみんなナビの利用率は20.8%であり、まだまだ認知がされていない状況であると判断した。
 - ・ 子育て情報を入手する手段も広報と友人からが40%以上であったが、うーみんなナビは6.1%であり、うーみんなナビのPRではのびのび遊べる街に近づかないことを実感した。
 - ・ 「蒲郡市内で良く行く遊び場」で**74%が公園に関する回答であったこと**
 - ・ わなげ参加者のうち、当日紹介された遊び場に行ったことがあるのが**5%であったこと**
 - ・ 「蒲郡市で子育てに求めるもの」で**26%が公園に関する回答であったこと**
- 以上3つのデータから、「のびのび遊べる街」にするために下記の取組を提言する。

①蒲郡の公園マップ作成（蒲郡市にここに子育てマップに追加）

地図上の公園をタッチすると詳細な情報が閲覧可能。駐車場、トイレ、授乳室、オムツ替えの台、自動販売機の有無がわかる。（蒲郡市HP、うーみんなナビに掲載）

②蒲郡の公園マップを用いた企画（イベント）の実施

行ったことのない公園や、近所の知らない公園を知ってもらい、子供達の遊び場の幅を広げる（地元の人で盛り上げる）

紙芝居、キッチンカー、フリーマーケット、わなげやヨーヨーつりなどを実施

◎認知方法

広報がまごおり、母子手帳交付時、保育園入園時（アンケート結果より）
安心ひろめーる、蒲郡市公式LINE（影響力が大きい）

10月の事業実施

事業タイトル：わなげで発見！がまごおり探検隊！

事業の目的

- ・蒲郡の地図の“わなげ”を遊んでもらうことで、遊び場をPRする
- ・うーみんなナビのPRをする
- ・子育てアンケートで意見を収集する

11

事業の効果・実績

- ・わなげ参加...219人
- ・うーみんなナビチラシ配布（景品・直接PR）...計299枚
- ・当日アンケート...計80件

12

実施内容（目的達成のための手段）

【子供】

- ・「蒲郡の地図」の“わなげ”（本事業のために製作）を、来場した子供に遊んでもらう
 - ・わなげのピンは蒲郡の遊び場、公園（豊岡湖公園、さがらの森など）
 - ・わなげの輪は蒲郡のロープ（市鶴製綱所様ご提供）
 - ・参加賞の景品にうーみんなナビのPRチラシ封入（親に渡してもらう）
- ※景品...わなげの輪、蒲郡に関するぬりえ、うーみんなナビチラシ

【大人】

- ・若者議員がうーみんなナビのチラシを配布し直接説明、PR
- ・チラシにはうーみんなナビのQRコードと意見収集のためのアンケートの回答フォーム付き（その場or後日回答していただく）
- ・その場でアンケートにも回答していただく（蒲郡市 健康課推進様）



政策広報計画

※政策の宣伝方法を記載する

- ・広報がまごおり（最も見られている媒体）
- ・母子手帳交付時、保育園入園時（クチコミでの情報拡散を狙う）
- ・安心ひろめーる
- ・蒲郡市公式LINE（影響力が大きい）

14

政策予算計画

※主要な費用項目を記載する

- ・蒲郡の公園マップ作成...約30万円
- ※蒲郡市にこにこ子育てマップに情報を追加する費用
- ※既存のものを活用することから予算を想定
- ・蒲郡の公園マップを用いた企画（イベント）の実施費用...約20万円
- ※イベントの運営費、人件費など

15